令和7年度 認知症キャラバン・メイト養成講座プログラム

①令和7年9月3日(水) ②令和7年10月2日(木)

会場:地場産業センター かいてらす

研修時間:9時30分～16時50分 (受付:9時～)

時間	内容	目的	講師等	テキストの該当章
9:30～10:00 (30分)	I オリエンテーション 1 研修主催自治体のキャラバン事業の取り組みについて 2 キャンペーンDVD(15分) 3 認知症サポーターキャラバンとは 4 研修のねらい	①キャラバン、事業展開の趣旨を理解する。 ②自治体としての事業の位置づけの理解徹底。	事務局	序章
10:00～12:00 (120分)	II 認知症サポーターに伝えたいこと ○認知症を理解する 認知症とはどういうものか 認知症の症状 中核症状 行動・心理症状とその支援 認知症の診断・治療 認知症予防についての考え方 認知症の人と接するときの心がまえ 認知症介護をしている人の気持ちを理解する	①認知症サポーター養成講座でサポーターに伝える内容について学習する。 ②認知症とはどういう病気なのか、認知症の人や介護をしている人をどう支援したらよいかを理解する。	公益社団法人 山梨県看護協会 訪問看護ステーション ほっと・ほっと韮崎 認知症看護認定看護師 狩野英美	第1章
12:00～13:00 (60分)	昼食休憩	-	-	-
13:00～13:25 (25分)	III 認知症サポーター養成講座の運営方法 1 認知症の人を地域で支える <u>グループワーク①</u> こんなとき、どこにつなげたらいいか 考えてみよう ○地域ケアシステムで支える SOS便利帳をつくる 地域包括支援センター、 地域の社会資源をおさえる	①認知症の人を地域で支える視点。 ②認知症の人の助けになる地域の社会資源やネットワークをおさえる。		第3章
13:25～13:45 (20分)	2 キャラバン・メイトの役割と講座運営の実際 ○各地のサポーター講座の様子 ○サポーターの活動事例	全国各地の講座の様態をスライドで紹介。(住民、職域、学校) サポーターによる活動例、チームオレンジ(2019年新規事業)概要紹介。	進行: 公益社団法人 山梨県看護協会	
13:45～16:15 (150分)	○サポーター養成講座の企画・運営ポイント <u>グループワーク②</u> 講座の展開に協力してもらえそうな機関等はどこだろう …講座の開催先を考える	①キャラバン・メイトの役割の理解とサポーター養成講座の対象者の検討。 ②サポーター養成講座を展開するうえで協力してもらう機関の洗い出し。 ③グループワーク②③の中で、認知症サポーターとしてできること(第2章該当)を押さえる。	訪問看護ステーション ほっと・ほっと韮崎 認知症看護認定看護師 狩野英美 事務局	第2章 ・ 第4章
	<u>グループワーク③</u> 受講者に合わせたカリキュラムをつくってみよう	①サポーター養成講座の運営方法を確認する。 ②サポーター養成講座の企画や講座のポイントについて理解する。 ③サポーター養成講座受講対象者別カリキュラムの作成。	ファシリテーター: 市町村職員協力者	
16:15～16:30 (15分)	質疑応答			
16:30～16:50 (20分)	IV 事務連絡 キャラバン・メイトの登録について アンケート回収 認知症サポーターカード・修了証 授与		事務局	

※休憩時間を適宜はさむ

※状況に応じて時間の割り振りに変更あり